

福島県

冬の会津

過ごし方ガイド



「会津で暮らす」というコト

白銀の世界、雪国会津へようこそ！本誌は会津13市町村での冬の暮らしを想定した、雪国初心者マニュアルです。雪に埋もれる冬の暮らしは良いことも、不便なこともあります。会津の人々は様々な知恵と工夫を凝らし、雪国暮らしを楽しんでいます。

冬の会津地方の気候

東北部に位置する福島県の西半分を占める会津地方は、内陸型の日本海側気候による豪雪地帯。11月の会津盆地は明け方の冷え込みで頻りに朝霧がみられます。11月中旬になると寒気を伴った西高東低の気圧配置で平地にも初雪が観測され、季節は急速に冬へと向かいます。日本海に低気圧がある場合には晴れるという特徴も。

12月に入ると北からのシベリア高気圧が優勢となり、冬型の気圧配置が続いて季節風が会津に本格的な雪をもたらします。会津の年間降水量のほぼ半分は雪によるもので、特に奥会津では一晩で1m以上降り積もることもあり、積雪は5～6mにも達します。

会津は冬が長く雪も深いですが、そのような気候だからこそ、多彩なスキー場でのスキーやスノーボード、凍結した湖面でのワカサギ釣りなどを楽しむことができます。また、良質な温泉も多く、屋外のような体験の後に温泉へ入ることも冬の会津の醍醐味となっています。

1 会津若松市 標高/218.32m

市街地は東から西へ緩やかに傾斜し、南北に阿賀川、中央を湯川が回流している。気候は盆地特有の複雑さで、夏は太平洋側に近く、冬は日本海側気候を示し、春秋にはこれに内陸型の気候条件が加わる。

2 喜多方市 標高/211m

北西に飯豊連峰の雄大な山並みが連なり、東には磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、豊かな自然に恵まれている。年平均気温約11℃で、冬は寒冷で積雪は1～2m、多いところでは3mにも及ぶ豪雪地帯となっている。

3 北塩原村 標高/300m

村の総面積の86%を山林が占め、東方は猪苗代町、西方は喜多方市、南方は磐梯町、猪苗代町の一部に隣接している。気候は北日本型に属し、積雪寒冷地帯に在り総面積234.08km²である。

4 西会津町 標高/158.9m

西に越後山脈、北に磐梯朝日国立公園の飯豊(いいで)連峰を望み、町の中央部を阿賀川が東西に流れ総面積の86%が林野となっている。青い空と濃い緑、山と澄んだ清流が調和した豊かな自然環境に恵まれている。

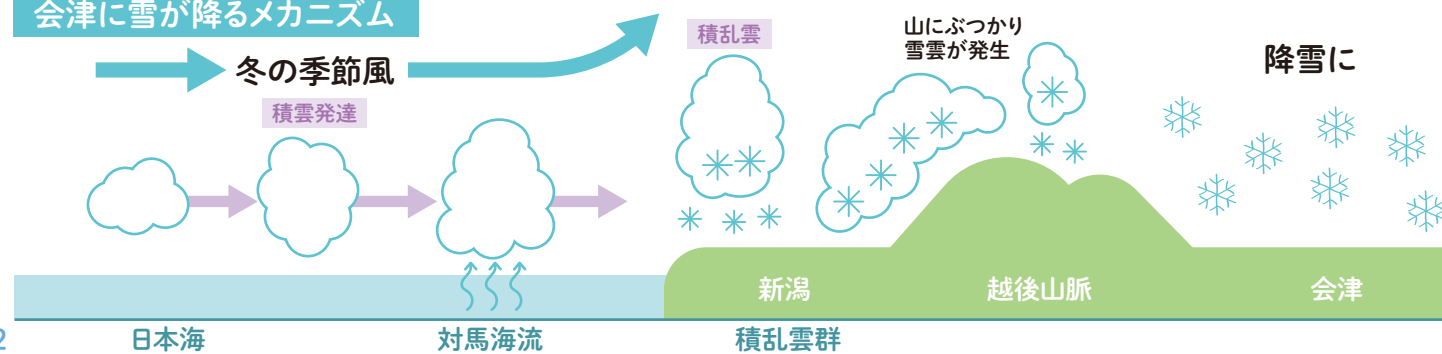
5 磐梯町 標高/378m

北に磐梯山をはじめ猫魔岳などの山並みが連なり、山間部の起伏の多い丘陵地帯である。町中央部は大谷川、南は日橋川(にっばしがわ)が東西に流れ、これらの河川に沿って耕地が開けている。

6 猪苗代町 標高/521.6m

猪苗代湖の北岸に面し、東西北の三方を磐梯山をはじめとする山々に囲まれ、山と湖の織りなす雄大で美しい自然に包まれている。日本海式気候で内陸型の積雪寒冷地帯に属している。

会津に雪が降るメカニズム



※「福島県市町村要覧2023」から引用



7 会津坂下町 標高/177m

東部を阿賀川、西部を見只川が流れ、東に広がる平野部は水田が広がる豊かな農地で、西部は標高300～400mの山々が連なっている。気候は、夏は盆地特有の高温多湿、冬は積雪1mほどの町である。

8 湯川村 標高/180m

会津盆地中央に位置する山ひとつない平坦地で、東西・南北4kmと福島県内が一番面積の小さい村である。北に猪苗代に源を発する清流・日橋川(にっばしがわ)、西に阿賀川の本流である大川が流れ、肥沃な水田地帯が一面に広がる静かな田園地帯である。

9 柳津町 標高/200m

東は会津美里町に、西は西会津町と三島町に、南は昭和村に、北は会津坂下町に接しており、近郊都市圏会津若松市から25kmの地点にあり、平均積雪量は120cmで裏日本型の豪雪寒冷地帯である。

10 三島町 標高/250m

海拔220～1200mの峡谷型山村である。総面積90.81km²の86%が林野で占められ、尾瀬を源流とする只見川が町の中心部を東西に流れる。平均積雪は150cmとなる。

11 金山町 標高/324m

南北20.54km、東西19.90km、面積293.92km²の山岳地帯である。只見川が南西から北東に町の中心部を流れ、東部に沼沢湖がある。平均気温は10℃と低く、積雪が2～3mの豪雪地帯である。

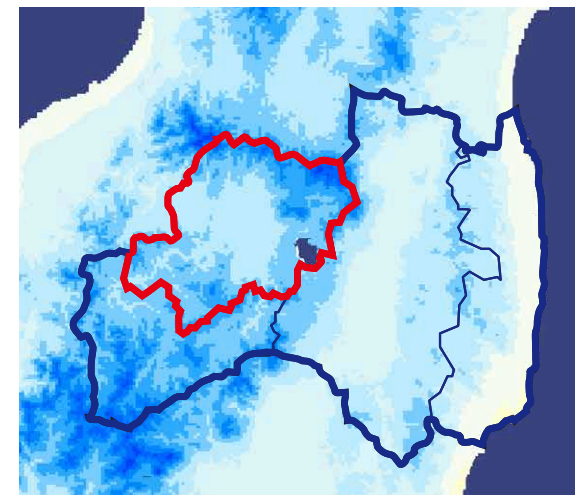
12 昭和村 標高/480m

標高の高い位置にある豪雪地帯。面積209.46km²のほとんどが急峻な山で、82%が山林である。村の中央を野尻川が貫流し、その河岸段丘に10の集落がある。

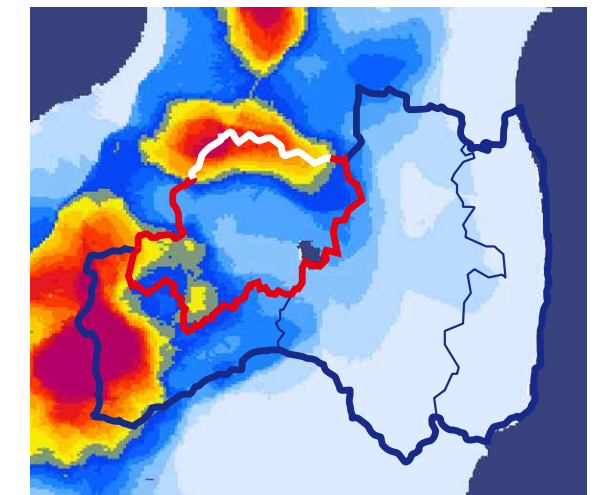
13 会津美里町 標高/230m

緑豊かな森林に囲まれた山間部と肥沃な土壌の扇状地からなり、その中を良好な水質の阿賀川(大川)や宮川など数本の河川が貫流する内陸型盆地である。

平均気温(1月)



最深積雪(1月)



出典：気象庁 メッシュ平年値2020 「maximum_depth_of_snow_cover_01」および「mean_temperature_01」を加工して作成
 ※メッシュ平年値図は、統計期間1991-2020年の平年値を使って1kmメッシュで推定した「メッシュ平年値2020」を元にして、日本の気候分布を一目で把握できるように色の違いで表したものです。

生活のココロエ

豪雪地帯の会津ではところによって毎年大量の雪が積もります。雪国で生活するなら避けて通れないのが除雪(雪かき)。近年はやや降雪量が少なくなっているようですが、一晩で一気に積もることもあり油断は大敵。日々を安心して暮らせるよう、安全な対策を行いたいものです。

屋外

除雪は自分の家を守るだけでなく、隣家への影響も考えながら行いましょう。また、重い雪を動かすのは想像以上の重労働なので、血圧や脈拍が急上昇体に急激な負担がかかります。除雪作業の前には準備体操をするよう心がけましょう。

屋根が上がっての雪下ろしは危険です。事故に備えて、ご近所と相談しながら複数で行います。命綱やはしごの固定などの準備を考えると、業者への依頼が良策でしょう。

軒の雪は時間と共に下がりながら内巻きにカールします。早めに落としましょう。雪崩止めの設置が有効な場合もあります。また、地面に積もった雪と屋根からの雪(軒下)がつながると屋根が壊れる場合があるので、必ず隙間を空けておきましょう。

屋根からの落雪も危険なので、人や車などが屋根の下に入らないような工夫をしましょう。

住まいの雪囲いは、落雪からの保護のほかに外気温をやわらげる効果もあります。

落雪で窓ガラスが割れる場合があります。冬だけ板を張っておく方法も。

早めの冬囲いで庭木を積雪から守りましょう。造園業者への依頼も検討を。

家の敷地から外へ出す雪捨てには、自治体やご近所のルールがありますので確認しましょう。道路にそのまま出すと通行の妨げになるので避けてください。また、そばの側溝へ捨てると下流の詰まりと洪水の要因となる場合があります。

屋内

高温多湿な地にある日本の伝統的な住まいは風通しが良く、夏場を重視した構造。断熱住宅でない冬暮らしが少々厳しいのは会津だけではありません。冬場も室温を一定に保つ工夫と、厳冬期の水道凍結防止策は必須です。

室内の熱は特に窓ガラスから逃げていきます。二重サッシにするか、専用の断熱シートを貼るなどして断熱性を高めましょう。

厚手のカーテンや、内側に遮熱カーテンをつけるなどの工夫も室内の熱を逃しにくくします。遮熱カーテンは夏場の冷房対策にも効果を発揮します。

水道の凍結防止としては、蛇口の水を少しずつ流し続けるのも有効です。

ヒーターは窓際に置くと空気の循環を助け、暖房の効果が上がります。石油ストーブなどは周りに燃えやすいものを置かないようにし、火災に注意しましょう。

memo

自治体の支援

自治体によって、対象者は限られますが除雪支援があります。また、シルバー人材センターに除雪する有償メニューがあるところも。積雪の多い自治体には、さらに手厚い支援メニューがあるのでお問合せください。

雪は重い〜屋根から雪を下ろす理由

綿のように見える雪も、積ると非常に重くなります。100cmの積雪で1mあたり約300kgとなり、屋根の面積を100㎡とした場合、屋根への荷重は30t(自家用車20台分)となるためです(三隅良平著『気象災害を科学する』ベレ出版)。

外気温が概ね氷点下4℃を下回ると水道管内の水が凍結しやすくなり、膨張して管が破裂する危険があります。外壁から立ち上げる屋外水道管には、冬場のみ電源を入れる温熱ヒーターや、冷風を遮断する保温材料で覆う、事前に水道管の水抜きを行うなどの対策があります。特に長期間家を空けるときには水を抜いて出かきましょう。お住まいの場所に適した対策がありますので、自治体に確認を。また、給湯器の配管も凍結する恐れがあります。蛇口から少量の水を出したままにしておく、長期間不在にするときには水抜きを行うなどの対策を。なお、必ずお使いの給湯器の取扱説明書を確認の上、作業を行ってください。



動画で確認!

雪かきの服装

動きやすい安全な服装で行いましょう。

上着

- 防水性があるもの
- 汗などの湿度を逃がす素材

下着

- 吸水性が良く、乾きやすい素材
- 背中にタオルを入れて置くと良い

長靴・防寒靴

- 防水性・防寒性があるもの
- 靴底の溝が深く、滑りにくいもの

帽子・ヘルメット

- 寒さ対策や頭部の保護に

マフラー・ネックウォーマー

- マフラーは作業の邪魔にならないよう長すぎないもの
- 汗拭きも兼ねて首にタオルを巻いても良い

手袋

- 防水性があるもの
- スコップなどを持ったとき、作業しやすく滑りにくいもの
- 軍手は濡れると手が冷たくなってしまうので、上にナイロン製やゴム製の手袋を重ねると良い

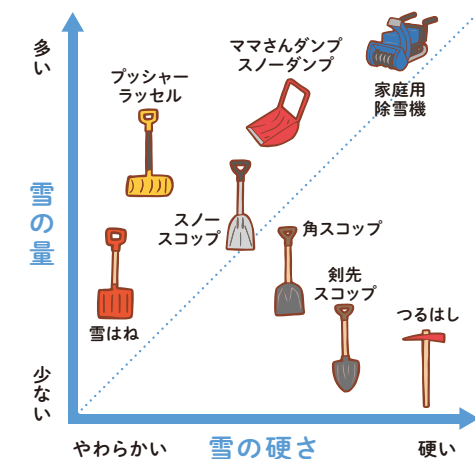
靴下

- 吸水性が良く、乾きやすい素材

雪かき道具の使い分け

雪の質や量に合った除雪道具を使いましょう。

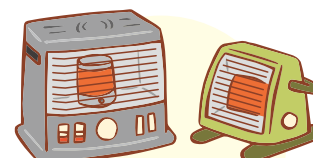
動画で確認!



コラム1

積雪期の「もしもの備え」

一気に大雪が降ると、電線にたくさんの雪が付着して大きな雪のかたまりになる場合があります。そこに強い風が吹きつけて電線同士が接触すると、停電が起きる場合があります。数日間電気が使えない状況に備え、以下の品を家庭に備蓄しておくことが安心につながります。



電気なしでも使える暖房器具(石油ストーブ、カセットガス式ストーブなど)



カセットコンロのガスボンベは多めに備蓄しておきましょう



ポータブルバッテリーがあると便利です

簡易トイレ、ランタン、懐中電灯、モバイルバッテリーなどは真冬に限らず停電時に必要



乾電池の備蓄は多めに用意しておいたほうがいいですね

※ウインターライフ推進協議会「除雪のコツおしえます。」ホームページ参照。https://yukikaki.jp/

移動のココロエ

雪道と一概に言っても路面状況により異なりますが、いずれにしても路面が乾いているシーズンより早めに行動をスタートし、移動はゆっくりと行うことが安全の近道です。

雪道運転のコツ

雪道は生粋の雪国住民でもシーズン初めにはトラブルを起こしがち。市街地の幹線道路はセンターラインから地下水を出して消雪したり、路面に埋め込む融雪設備でコントロールしますが、ほとんどの道は除雪車が稼働する、降雪量に左右される道路です。様々な道路条件の中を、安全に移動するために気をつけたいことがあります。



NG
急発進
急ブレーキ
急ハンドル

路肩は道幅が狭くなっている
ので注意!!

!! 発進・減速

ペダルをゆっくり踏み込んで行います。無雪期の2倍以上の車間距離と10km/h以上の減速を心がけましょう。追い越しはNGです。またカーブや下り坂も危険です。カーブや下り坂の前に十分に減速を。

!! ブラックアイスバーン

アスファルトの路面が濡れているだけのように見えて実は凍っている、スリップの危険がある状態です。トンネルの出入口や路側帯、日陰や橋の上などは凍りやすいので、特に注意!!

!! わだち道

気温が上昇すると轍(わだち)から雪が溶けはじめ、それを繰り返すことでどんどん轍が深くなっていき、スリップしやすい状態となります。車高の低い車は轍を避けて走行する必要があります。

!! 圧雪道

除雪車が雪をかいたあとは道が真っ平らになり走りやすくなります。とはいえ、そこが寒風でテカテカに凍っている場合もあるので注意して運転を。

!! ホワイトアウト

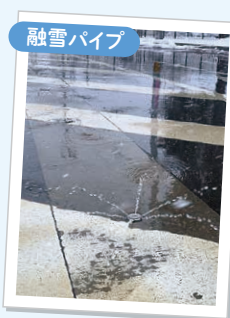
大粒の雪が強風で真横から吹き付けると一寸先も見えなくなります。左右の幅感覚も無くなりますので早めに徐行し、スノーポールがある場所では道路の両脇の赤白ポールを目印に慎重に進みます。昼でもヘッドライトを点灯するのは、対向車に自車の接近を知らせる意味もあります。

除雪車



除雪車を追い越すのはNG。作業中の除雪車は前進、後進を繰り返すため近づきすぎないこと。また、除雪の妨げになるので路上駐車はしないこと。

融雪パイプ

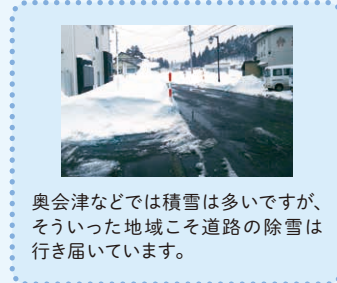


道路に埋めたパイプから水を流して、雪を溶かす「融雪(消雪)パイプ」。

スノーポール



スノーポールは積雪時、降雪時にドライバーを適切に誘導するために設置されています。また、除雪車が除雪をする際の道幅の位置の目安にもなります。



奥会津などでは積雪は多いですが、そういった地域こそ道路の除雪は行き届いています。



路面の凍結防止のため、凍結防止剤散布車が、塩化ナトリウム、塩化カルシウム等を散布します。散布車に遭遇した時は、凍結防止剤がかからないように十分な距離を取りましょう。

雪道を歩くコツ

歩幅を狭く、ペンギン歩きをイメージしましょう。足の裏全面を使って歩くと転びにくい。ポケットに手を入れて歩くと、急な動きに対応できないので注意。



動画で確認!



建物屋根からの落雪、氷柱(つらら)の落下などを想定し、軒下には近寄らないこと。気温が上がった日は緩むので注意!

一部を除き、市街地の大きな歩道や通学路は通学時間までに概ね歩道用の除雪車などにて除雪されますが、雪に覆われた側溝には注意が必要です。

万が一転んだときは、後頭部を守り地面にはお尻から着くように。

車の冬じたく

シーズン初めはバッテリーやエンジンオイル、ウォッシャー液などの点検を!

フロントガラスが凍った際のぬるいお湯をかけて溶かす方法は、急激な温度差でガラスが割れる危険があります。早めにエンジンをかけて車体を暖めて溶かすか、解氷剤の噴霧が手軽でおすすです。

車体に積もった雪はできるだけスノーブラシ(雪かき棒)で落とします。屋根の上に雪をのせたまま走行すると、ブレーキを踏んだ際にフロントガラスへ下ってきて前方が見えなくなります。

memo
デフロスター(デフォグラー)
車のガラスの曇りは、デフロスター(デフォグラー)のスイッチを使い、エアコンの高温風を送ることで、短時間で除去することができます。
エンジンスターター
リモコンで車のエンジンが始動・停止できる便利なカーグッズ。運転する前に車を暖めておくことができます。

駐車時にはワイパーを立てて車を離れます。ワイパー上に雪が積もると重みでワイパーが曲がったり、破損したりする可能性があります。また、フロントガラスが凍るとワイパーが張り付いてしまうことも。冬用ワイパーは、夏用ワイパーよりもラバー部分が凍らないよう厚くなっているため、冬場におすすめです。



スタッドレスタイヤへの交換は降雪前の11月中旬に。ゴムが経年劣化(3~5年が目安)していたり、溝が浅くなっていたら安全走行のために新品にしましょう。塩化カルシウムなどの融雪剤が散布されている道を通ったときは、のちのサビ防止のために下回り洗浄を。

サイドブレーキが凍結する可能性もあるので注意。

前後のタイヤがすべて駆動し走行する4WD車は、雪道におすすめです。

コラム2

積雪期に車で移動する「もしもの備え」

寒気団の発達により一気に大雪となる場合があります。車で移動中に大渋滞の末、数日間そこから動けなくなる「立ち往生」に巻き込まれるケースもあります。天気予報を常に確認し、不要不急の外出を控えるのがベストですが、どうしても出かけなくてはならない場合はガソリンを満タンにし、万が一に備えて次の品を車載しておくことをおすすめします。

ほかにスマホのバッテリー、携帯トイレ、毛布、解氷スプレー、けん引ロープ、脱出用ラダーなど



雪国の楽しみ

雪国会津には、古からの伝統行事と雪を活かしたイベントが数多くあります。冬の会津を思いっきり遊びつくしてみませんか？

冬の歳時記 & イベント

11月

- 10月中旬～11月上旬 磐梯山慧日寺資料館紅葉ライトアップ[磐梯町]
- 10月下旬～11月上旬 法用寺菊まつり[会津美里町]
- 第2土・日曜日 新そばまつり[会津坂下町]
- 未定 御薬園紅葉のつどい[会津若松市]
- 未定 桧原湖ワカサギ釣り[北塩原村]

12月

- 未定 ゆがわウインターイルミネーション[湯川村]
- 各地でスキー場オープン

1月

- 1日 鶴ヶ城元旦登閣[会津若松市]
- 東山羽黒山元朝まいり[会津若松市]
- 圓蔵寺 元朝まいり[柳津町]
- 各地で初詣・年始会
- 7日 七日市[磐梯町]
- 七日堂裸詣り[柳津町]
- 10日 十日市[会津若松市]
- 12日 小荒井初市[喜多方市]
- 12～16日 歳の神[会津各地]
- 13日 十三日市[猪苗代町]
- 14日 奇祭大俵引き・初市[会津坂下町]
- 両原早乙女踊り[昭和村]
- 14・15日 団子さし[会津各地]
- 15日 塩川初市[喜多方市]
- 17日 小田付初市[喜多方市]
- 第2土曜日 奇祭高田大俵引き[会津美里町]
- 中旬 野沢初市[西会津町]
- 下旬 大山祇神社旧暦元旦祭[西会津町]
- 未定 ゆがわ冬の市[湯川村]
- 1～2月 桧原湖水上周ワカサギ釣り[北塩原村]



2月

- 3日 豆まき[各地]
- 25日 文殊祭り[会津美里町]
- 第1土or日曜日 会津やないづ冬まつり[柳津町]
- 第2金・土曜日 会津絵ろうそくまつり[会津若松市]
- 第2土曜日 かねやま雪まつり[金山町]
- 第3土曜日 三島町雪と火のまつり[三島町]
- 第4日曜日 からむし織の里雪まつり[昭和村]
- 上旬 蔵のまち喜多方冬まつり[喜多方市]
- 西会津雪国まつり[西会津町]
- 中旬 雪まつりナイトファンタジー[北塩原村]
- 未定 百万遍[金山町]

3月

- 4日 ひな流し[三島町]
- 上旬 つるし雛[会津坂下町]
- 春分の日 会津彼岸獅子舞公演[会津若松市]
- 磐梯神社の舟引き祭り・巫女舞[磐梯町]
- 春分の日前後 赤枝彼岸獅子[磐梯町]

(2024年2月情報/開催日は各自治体へご確認ください)



冬期通行止め情報

積雪期には一部主要道で通行止め規制がありますので、右記二次元コードからアクセスし情報をご確認の上、お出かけください。



福島県ホームページ 道路通行規制情報

天気予報の調べ方①

日本海側気候に分類される会津地方は、同じ福島県でも太平洋側気候の東半分とは異なり、新潟の天候の動きがより会津に近いので、会津に住む人は全国の天気予報で会津の予報が表示されない場合は、新潟を参考にしていきます。



天気予報の調べ方②

天気予報で耳にする「山沿い」は概ね標高300m以上のこと。ちなみに会津盆地の真ん中にある湯川村は山がないので、「なだれ注意報」はないのだそう。



除雪をエンジョイ!

「除雪は労働ではなくエクササイズである」と位置づけた、健康に近づく西会津町発祥の「一挙両得」プログラム。2015年には日本ジョセササイズ協会が発足しています。



たくさんの雪を活かす

大量の雪を周年有効に利用しようと、厳冬期に運び込んだ雪の冷気を活かし、カスミソウやソバなどの農産物の保存に活用されています。ゼロエネルギーで環境に良いですね。



豪雪地帯・特別豪雪地帯

積雪が特に甚だしいため、産業の発展が停滞的で、かつ、住民の生活水準の向上が阻害されている地域。日本国土の半分(おおむね日本海側)が豪雪地帯、20%は特別豪雪地帯に指定されています。



除雪の見える化

除雪車の出動は10cmから15cmの積雪が目安となります。市街地を稼働している除雪車の動きを、ホームページからリアルタイムで確認できる自治体もあります。

会津若松市
除雪車運行管理システム



雪は暖かい!?

雪国ビジュアルの定番のひとつ「かまくら」。その内部は雪の壁の断熱作用が内部の熱を外へ逃がさずにとどめるため、暖かいのだとか。かまくらの中で甘酒などを味わってみては。



雪が繊維を白くする

天然素材のからむし織やマタタビのカゴ細工は外に出て「雪ざらし」することで白く仕上がります。太陽の熱で雪が溶けて水蒸気になるときにオゾンが発生し、植物由来の繊維が漂白されるのだそうです。



からむし織の雪ざらし(昭和村)

スノーシェッドって?

山沿いの道路を走ると、屋根を設けた雪崩対策のトンネルのような施設があります。これは屋根面上を通過させた雪崩を谷側へ流下させて走行車両や歩行者などを守る構造物です。



盆地は西から東へ吹雪く

冬のみ設置される金属製の防雪柵は、視界を遮る吹雪から運転中の視界を守ってくれます。会津盆地は冬場、西から東に向け強風が吹くため、西側に設置されることが多いのです。



雪が野菜を甘くする

雪の中はほぼ0°Cに保たれ、湿度も高いので凍ることがありません。雪下で保存した野菜は寒さから身を守ると糖分を蓄えるため、野菜自体に甘みと旨みが凝縮されおいしくなります。



だから春が待ち遠しい?

フキノトウに代表される春の恵み、山菜に含まれる苦味成分「植物性アルカロイド」は、デトックス効果があるとされています。冬の間に貯め込んだ脂肪や老廃物を排出してくれるのです。



福島県

冬の会津

過ごし方ガイド



〔発行元〕

福島県会津地方振興局
企画商工部 地域づくり・商工労政課

会津若松市追手町7番5号
☎0242-29-5292